

2017年 今年の一冊 ボランティア 司書紹介本

『深泥丘奇談』 綾辻
行人著 角川文庫 2014

生理的な恐怖と精神的な
恐れ。全ての「怖い」がこ
この本につまっています。主
人公が身の周りでどんどん
不思議なことに巻き込まれ
ていく短編集で、とても読
みやすいです。例えば、あ
るはずのない場所に顔があ
ったり、心の闇が肝臓にあ
ったり、頭の中が鈴になっ
てしまったりなど、とても
独特な世界観があり、読ん
だ後は必ず自分の身になに
か起きそ

うで怖
くなり
ますが、
もう一
回読みたくなるくらい面白
いので読んでみてください！

H2 H・T

私が今年一番おもしろい
と思った本は『ランチ
のアッコちゃん』 柚
木麻子著 双葉文庫 2015

でした。連続ドラマ化も
した人気作品で彼氏にフラ
レて落ち込んでいた主人公
が“アッコさん”というあ
だ名で呼

ばれる黒
川敦子部
長からラ
ンチの交



換を提案され、様々な人と
出会っていき、少しずつ変
わっていくお話です。読む
と元気になる小説として話
題になりました。出てくる
ランチもとてもおいしそう
なものばかりでお腹が空い
てきます。食欲がない時や
少し疲れた時にぴったりの
“ビタミン小説”をお楽し
みください。 H2 K・Y

『みをつくし料理帖』
シリーズ 高田郁著 ハル
キ文庫 2009～2014

実は三年ほどまえ、とあ
る先生にすすめられ、読も
うとしたのですが、歴史が
苦手だったこともあり断念。
でも今年、テストの課題図
書になったので読み始めて
みると意外にもサクサク読
み進み、全十巻を読破！と
にかく登場する料理がおい
しそうなのと、
人間味あふれ
るキャラクター、
そして主人公
の滯と親友野
江の絆。今年食べたおし
いものや、一年支えてくれ
た大好きな友達への感謝を
このストーリーに重ね、今
年の一冊にしました。 H2 R・T

司書紹介本

2017年はボブ
の年でした。

『ボブという名のスト
リートキャット』
ジェームズ・ポーエン著

2013 辰巳出版

家族や友人さえ見捨てた
薬物中毒のホームレスのジェ
ームズ。でも傷ついたネコに
出会い、なけなしのお金で
治療費を出して看病する。
そしたらその猫、路上演奏
の時までついてきて、ハイ
タッチまでおぼえた！それ
が話題になって今までの3倍
の稼ぎになって、けれど周
りの仲間



に生まれ
ハメられ
て演奏が
禁止され
…という
人生山あ
り谷あり
のノンフィ
クション。
映画もこ
の夏公開されました。（主
役のボブを演じているのが
ネコのボブ自身！肩に乗っ
て移動し、コヴェントガー
デンでじっと聞き耳をたて
て…と最高の演技を見せて
くれました）ホームレスだ
った時は透明人間のように誰
からも無視されていた彼が、
ネコを気遣い守っているう
ちにだんだんと周りの人に
認められ受け入れられてい
く部分が感動的でした。
「ビッグイシュー」という
ホームレス支援の雑誌の仕
組みもよくわかる一冊です。
（眞鍋）

今年も昨年に引き続き、映
画・演劇・落語・ライブな
どの“観る”ことを楽しん
だ一年でした。そんな私の

一冊は、もし映像化された
ら観てみたい『罪の声』
塩田武士著 講談社 2016
です。本書は、戦後最大の
未解決事件「グリコ・森永
事件」をモデルに書かれて
います。実際の事件を詳し
く知らなかったの、本や
当時の新聞で調べてみまし
た。すると、この小説が史
実には

ほぼ忠実
に書かれ
ているこ
とが分か
りました。
何より恐ろしかったのは、
犯行に“子どもの声が使
用されたこと”。もし、
みなさんの声が自分の知
らない間に犯行に使われたら
どうしますか？ （大河）

今年、美味しいお店を見
つけたり、初めて作る料理
に挑戦したり、食に親し
んで過ごしたように思いま
す。そこで、今年の一冊は、
食べものが関係した小説、
『あまからカルテッ
ト』 柚木麻子著 文春文庫
2013 です。中学時代から



の親友という4人の女性たち
のお話です。4人の誰かが困
っているとき、苦しいとき、
ほかの3人は、なんとかして
あげたいと協力を惜しみま

せん。その行動力がなかな
かすごい。たとえば、「お
稲荷さんの君」捜しも三者
三様の方法で協力し…。来
年も、実際の食だけでなく、
本でもいろいろな食べもの
に出会いたいと思います。
（井上）

『サクリファイス』
近藤史恵著 新潮文庫 2010

私は、今年、渡辺航の漫
画『弱虫ペダル』にはまり
ました。舞台、アニメ、実
写化もされた人気作品です。
初めて自転車競技を知った
のですが、まあこれが、奥
が深いスポーツで、すっか
りはまってしまいました。
自転車競技の何がおもしろ
いって、この競技、団体戦
なんです！ちゃんとチーム
のなかで、自分の役割があ
って、ただゴールを目指す
だけじゃない！1日では終
わらないというのも魅力の
ひとつ。何週にもわたり、
トータル何千キロも走ります。
（この世でもっとも過酷な
スポーツ！）日によってコ
ースも違い、その日その場
所での戦略、力配分も大事
になります。また、長いコ
ースの間、たとえ敵のチ
ームでも、先頭を交代しな
がら、

空気抵抗を
減らし協力
して走る場
面もありま
す。これも
魅力のひと
つ。この本
も、そんな
自転車競技の競技的な部分



もちろんですが、さらに
ミステリー要素も入って、
スリリングで大満足な1冊。
来年は、実際に、自転車競

技を見たいなあと思ってい
ます。（正路）

12月18日（月）読書会 13時より。

『ラストレシピ 麒麟
の舌の記憶』 田中経一
著 幻冬舎文庫 2016
映画化されて泣いた
人もいるかな。ストー
リーに関連したスイ
ーツも出ますよ。



冬休み 開館予定

12/25（月）・26（火）

9：15-16：45

1/6（土） 9-14 読書みくじ開始
（なくなるまで）今年の読書運を名
作のシーンで占いましょう。

9日（火）から通常開館

ただいま
枕草子の絵本を展示中。
中学2年生が自分たちのことば
で訳して絵を描いて作りまし
た。保護者の方も是非ご覧くだ
さい。 12月26日まで。